

○連携大学院方式とは、研究機関の研究者を大学の教授・准教授として迎え、その機関の研究環境を活用しながら研究指導等を行う、大学院教育の方式

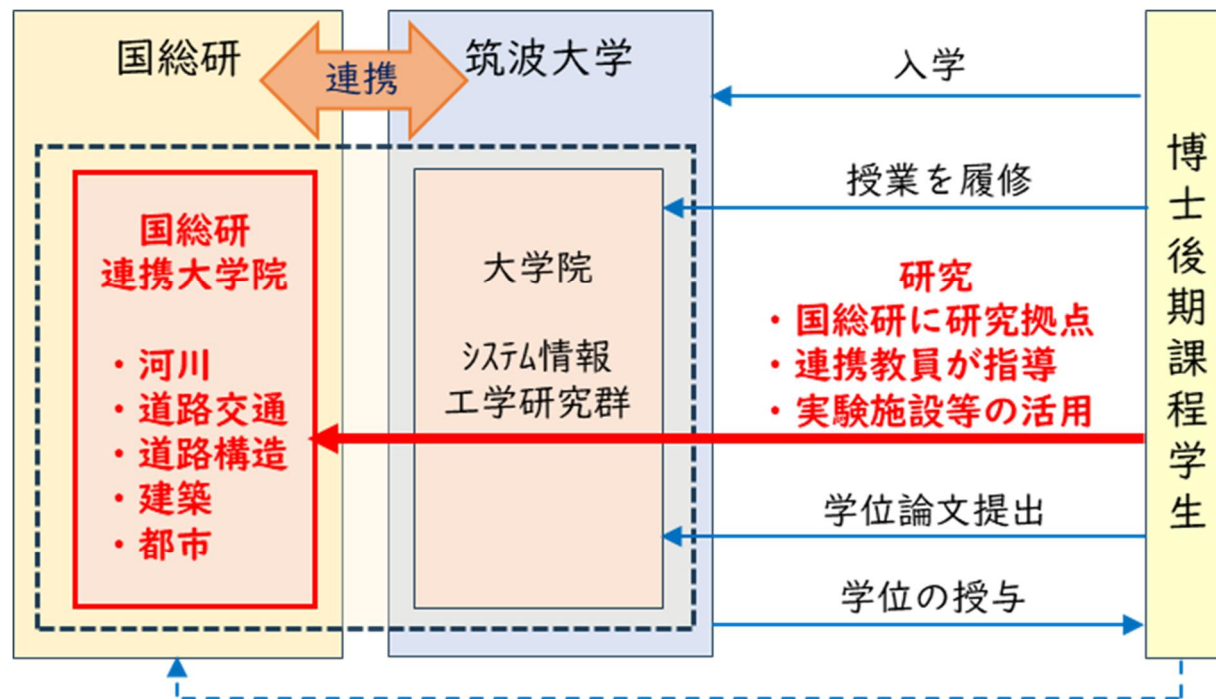
筑波大学では、筑波研究学園都市などにある国立・独立行政法人・民間企業等の研究機関と連携を図り、各研究機関の研究者を筑波大学の教員として迎えるとともに、最新の研究設備と機能を有する当該研究機関の優れた環境のもとで学生の研究指導を実施

<主なポイント>

- 学生の研究拠点は国総研
(国総研の大規模な実験施設等を活用した研究指導を実施)
- 学生に対する研究指導の中心は、発令を受けた国総研の研究者
- 実務と理論に精通した博士人材の育成を推進

<今後のスケジュール>

- 令和 8 年 (2026 年)
- 7 月 8 日 筑波大学オープンキャンパス
 - 7 月 9 日～ 7 月 22 日 筑波大学博士課程後期 (8 月入試) 出願期間
 - 8 月 19 日 筑波大学博士課程後期 (8 月) 入試
 - 9 月 10 日 合格発表
 - 11 月 30 日～12 月 10 日 筑波大学博士課程後期 (1～2 月入試) 出願期間
- 令和 9 年 (2027 年)
- 1 月 28 日 筑波大学博士課程後期 (1～2 月) 入試
 - 2 月 15 日 合格発表
 - 4 月 1 日 入学



*選考採用制度により、募集に応募の上、審査を経て国総研職員に採用されます。

連携大学院方式による博士課程学生の入学から学位取得までの流れ